

令和 2 年度 事業 報告 書
2020 年 7 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日まで

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

1 事業の成果

新型コロナウイルスの感染拡大がおさまらない中、人が集う企画や体験・体感の企画を準備しても延期や中止という判断をしなければいけない 1 年間となってしまった。学校の休校や公共施設の休館の影響は、2020 年 4 月～5 月末にかけての緊急事態宣言が明けた後、こどもたちにとっても影を引くものとなった。子どもが子どもらしく遊ぶことができない中での居場所の開催は、実施方法を手探りで作り上げていかなければならず子どもたち自身にも我慢を求める形での開催が続いている。そういった中でも、場を開き続けることで居場所を訪れてくれる子どもの数は少しずつ増え、居場所に来ることを楽しみにしてくれている様子が見られることで、場の価値を感じることができている。

コロナ禍での開所となった「こども家庭支援センターつるみらい」「鶴見の多世代多文化の交流拠点 230cafe」については、常に緊急事態という状況の中で運営の基盤づくりを進めていった。交流拠点として「通常運営」という日をまだ迎えることができていないが、営業を続けていく中で新たにできたつながりや経験を生かした企画が準備できるよう「日常」に向けて日々を重ねていくことができている。

2 事業内容

① 子どもの発達における総合支援事業

ア 子どもたちの居場所づくり実践

子どもたちの居場所づくりの取り組みを実施。

・公共施設での子どもたちの居場所づくり：地区センカフェ

「行けば誰かいる」という子どもたちにとっての待ち合わせ場所であり、頼れる大人に出会える場づくりの実施。

日 時：毎週火曜日 15：00～17：00 オープンスペース
18：00～19：00 学習支援

場 所：横浜市寺尾地区センター

開催回数：オープンスペース 45 回

学習支援 14 回

参加者数：オープンスペース 延べ 490 人（内こども 417 人・大人 73 人）

学習支援 延べ 42 人・学習支援ボランティア延べ 28 人

学習支援コーディネーター 1 名配置

※事業の一部を鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金を受け実施

・公立中学校内での放課後学習支援

中学校の校舎内（図書室等）での放課後学習会の実施。生徒一人ひとりに寄り添った個別対応により、学習の困り事のみならず生活面での相談にも対応。参加した中学 3 年生は、今年度も全員希望の高校に進学することができた。取り組みが、開催をしている寺尾中学校「てらお地域学校協働本部」の学びづくり部 放課後学び場事業に位置付けられた。

日 時：木曜日 主に 16：00～17：30

場 所：横浜市立寺尾中学校



開催回数：27回

感染対策の対応で1回中止

参加者数：生徒 延べ115人・学習支援ボランティア 延べ83人

学習支援コーディネーター 1名配置

- ・ 高校生のための居場所「プレイスカフェ（仮）」／「つみれ自習室」

NPO 法人 ABC ジャパン主催事業に連携実施

2021.3月まで「プレイスカフェ（仮）」という名称で開催。場に来る高校生たちから「何をしたい場所かわかんなくて…」という声があがり、高校生や若者たちと話し

「カフェやファミレスで試験勉強したりするけど、お金かかって大変」

「放課後に落ち着いて勉強できるところがほしい」

「勉強を見てくれる人がいたら嬉しい」と勉強に関連するワードが多く出たため「つみれ自習室」と場所名を変更して実施。

日時：木曜日・（土曜日 2020.12まで） 16：00～19：00

場所：鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe

開催回数：76回

参加者数：高校生 延べ94人

2021年6月～ 学習支援スタッフを配置

- イ こども家庭支援センターつるみらいの運営

こども家庭支援センターは、児童福祉法に基づき設置された児童福祉施設。地域の子育て家庭の皆さんからの相談に対して、専門的な支援や援助をおこなう。令和2年4月1日に開所。横浜市鶴見区にお住まいの方が利用。スタッフは、社会福祉士、臨床心理士、保育士など雇用し運営。

相談対応件数：延べ415件（2020年4月～2021年3月）

※2020年4月～7月は、緊急事態宣言等により一般からの相談はほぼなく、関係機関との連絡・調整が中心となった。

- ウ 講演・啓発事業

新型コロナウイルス感染拡大のため、今期は実施を見送り。

講演会、研修会の依頼については、企画中止や延期などにより実績なし。

- エ 子どもの体感・体験・学習イベント

- ・ つるみ子育て個育ちフォーラムへの参加

子どもたちが健やかに、心豊かに育つ地域づくりを進めていくことを目的に、鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体や区民有志が一堂に会すイベント「つるみ子育て個育ちフォーラム」の運営委員、企画委員として協力。

- オ 委託事業、認可事業の運営申請準備

今期は鶴見区内で子どもの支援につながり、サードプレイスの強みを生かすことができる委託、指定管理等の募集がなかったため実績なし。

② 地域資源の調査・研究・開発事業

ア 鶴見区子ども資源調査・研究・開発
実績なし

イ 鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe の運営

令和 2 年 4 月 1 日に鶴見の多文化・多世代の共創拠点「230cafe」をオープン。拠点運営やランチ営業などを「つみれプロジェクト実行委員会」の協力により実施。

ランチ営業日数：149 日

貸しスペース登録団体数：39 団体

貸しスペース利用回数：119 回

230cafe 延べ利用者数：2,448 名

230cafe 主催企画：おなかま食堂/サポーター交流会/利用登録者交流会/ゆるゆるお話し会
緊急事態宣言、まん延防止等重点措置への対応：営業時間（利用可能時間）を 20 時まで
に短縮

ウ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

地域のご高齢者の外出の機会づくり、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・
日常生活支援総合事業（総合事業サービス B 通所型）を実施。横浜市通所型支援：リハビリ
体操、ピラティス、映像を見ながら懐古談など

日 時：木曜日 10:00~13:30

場 所：鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe

開催回数：45 回

参加者数：94 人

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置に対応し、感染対策のため回数と定員を減らし実施。

エ 鶴見区にお住いのひとり親世帯向け食料品提供

コロナ禍により生活に影響を受けているひとり親世帯に対し、寄付で得られる食料品や購
入して集めた食料品の配達を継続して実施。配達の際に、食料品以外の困り事の聞き取り、
アセスメント。継続相談が必要な家庭は、児童家庭支援センターの案内やコロナ禍におけ
る相談に対応している先のチラシを同封した。

実施回数：9 回

配達世帯：延べ 47 世帯